ハードグラス工業

ビル用複層新工場が完成

切断4ライン・印刷中低層ユニタイズも

ハードグラス工業（兵庫県伊丹市、下岡嵩社長）は伊丹市に板ガラス切断・複層ガラス製造の新工場「空港第1工場」が完成。11月21日、関係者を招いて竣工（しゅんこう）式を開催した。既にAGCグラスプロダクツから譲り受けた切断事業を行うラインは稼働を開始している。2013年1月以降、ビル用複層ガラスの製造とインクジェット印刷機による印刷加工、中低層ビル向けのユニタイズ組み立ての専用工場建設も計画しており、4年後には現在のほぼ2倍となる売り上げ60億円を目指す。

空港第1工場外観（左）と1階の切断ライン

空港第1工場は2階建てで、敷地面積が約500平方㍍、延べ床面積は約6000平方㍍。1階はガラス、カラーガラス、鏡の切断・面取り加工をする。2面ターンテーブル付きCNC自動切断機4基を備える。

2階はビル用複層ガラスの製造、インクジェット印刷機による印刷、中低層ビルのユニタイズを組み立てる。2階に設置する加工設備は12月から来年1月にかけて入荷する予定。

工場の設計は生産性を重視し、機械設備のレイアウトを自由に変更できるよう、空間を確保した。建物と加工設備、システムなど、土地を除いた今回の総投資額は約12億円。

同社は14期連続黒字決算という好調な業績を背景に、さらなる財務基盤強化のためのコスト削減と、収益拡大のための施策を着々と進めている。昨年1月には本社横に本社第2工場が完成し、散在していた工場と事務所を集約した。2年後をめどに中低層ビル向けユニタイズ組み立ての専用工場建設を計画する。ガラス二次メーカー随一の豊富な営業人員を抱える営業力を生かして、ビル用複層ガラスやユニタイズの販売に力を入れていく。

下岡社長はビル用複層ガラス製造への進出について「これからはエネルギーのコスト・消費量を抑える建物が主流になっていくので、まずは複層ガラスが必要。2年後には中低層ビル用ユニタイズ組み立て工場を造り、ユニタイズができるようになった時に売り上げ60億円という数字がクリアできる」と語る。

同社は5年前に空港第1工場の土地を取得していたが、リーマン・ショックによって経済情勢が大きく変わったため計画を一時中断。今回着工を決断したのは「日本経済が底をつき、これから時間はかかるにしろ、横ばいから徐々に上がっていく。仕事が出始めたころにスタートしたのでは遅過ぎる」（下岡社長）と判断したからだ。歴史的なユーロ安も欧州製の加工設備を購入する上で追い風となった。

景気の先行きが不透明な中での大型投資だが「今後一気に仕事が出てくると考えて新工場を建てるわけではない。余裕がないのに設備投資をして、すぐに売り上げを期待するようでは失敗するだろう」と長い視点で取り組む構えだ。

空港第1工場の概要

所在地	兵庫県伊丹市口酒井3－3－30
構造	鉄骨2階建て
敷地面積	約5000㎡
延べ床面積	約6000㎡

主な加工設備

設備	ガラス最大寸法（㍉）
CNC自動切断機（4基）	3300×6100
自動4辺糸面取り機	2500×5000
複層ガラス製造ライン	2500×5000
インクジェット印刷機	1300×4000

最大5㍍対応複層設備 強化・合わせ大型化も

導入する複層ガラス製造ラインは最大5㍍まで対応。現在同社にある強化と合わせの設備は4㍍までなので、今後はそれらの大型化も検討している。

ユニタイズ組み立ての新工場建設も計画しているが、完成すればガラス加工メーカーとしては国内で初めてとなる。ユニタイズは現場単位で保管させるためのスペースが必要。できたものをすぐ出荷するというわけにはいかないため、専用の工場でなければ難しいといわれる。同社は外部からも人材を入れて技術者を育成することにしている。

ユニタイズのガラスは基本的に国内板ガラスメーカー品を使う。海外品とのコスト差に対しては、品質の高さや納期面など、トータルでのメリットを訴える。

全社員、全力で走る

あいさつする下岡嵩社長

竣工式には伊丹市の藤原保幸市長の他、AGC旭硝子グループ、主要販売先のナブコグループ、寺岡オートドア、設計・施工に携わった大林組関係者らが出席。鏡開きなどを行い、新工場の竣工を祝った。

下岡嵩社長

今の日本経済の情勢は超円高、ヨーロッパの財政危機、中国の台頭など、座して黙していては下り坂を転げ落ちていくのではないか。そのような危機感を感じ、時代の要請もあって新たな設備投資を考え、新工場の建設に至った。このような厳しい時期に投資を決断できたのも、AGCグループのおかげ。大阪府大東市で行っていたガラスの切断事業を弊社が譲り受け、技術や品質など全ての面で指導を受けた。

新工場の建築、設備投資には大変迷った時期もあったが、伊丹市、AGCグループのバックアップを頂き、思い切って踏み切ることができた。全社員で迷うことなく、全力で走っていきたい。

藤原保幸伊丹市長

新工場の建設については早い段階から話を聞いており、市を挙げて応援しなければと思っていた。伊丹市では産業政策に特に力を入れ、町づくりの大きな柱にしている。市民生活を考える上では、働く場がなくてはいけない。福祉、教育などの施策を進める上で、地域経済に頑張ってもらわないと何もできない。

今、日本の製造業はかなり厳しく、海外に行く企業も多いのは事実。そうした中、何とか伊丹市の企業が伊丹市で操業を続けて発展していただけるよう、さらに市外からも企業に来ていただけるよう、「伊丹市企業立地支援条例」を作り、市内で事業を発展させる企業、市外から来ていただける企業を応援する仕組みを整えてきた。ハードグラス工業さんは適用11例目だ。

新工場のすぐ近くには伊丹空港があるので、全国から来ていただけるのではないか。伊丹空港は今年7月から国管理から会社運営に切り替わった。今後さらに伊丹空港を活用する方向になり、この地域は便利になると思う。ハードグラス工業さんが空港第1工場をフルに活用され、さらなる発展を遂げることで、伊丹の地域経済発展の大きな力になっていただけると期待している。

武田雅宏AGCグラスプロダクツ社長

ハードグラス工業さんとは1974年、ガラスの素板をお買い上げいただくお客さまとしてわれわれとの付き合いが始まった。1987年、旭硝子の強化ガラスドア「テンパライトドア」、強化ガラス「テンパライト」の製造委託をしてパイプがますます太くなった。それ以後、長い付き合いになる。このたび、切断事業をハードグラス工業さんにお願いすることになっており、これからますます深い付き合いになると思う。

これから安全ガラス、省エネガラスは大きなマーケットがある。日本は成熟社会といわれているが、安全、安心に暮らせることは大きな条件。日本は安全ガラスの普及がまだまだ。私は中国に4年間いたが、カーテンウオールの窓、公共の建物には強化ガラスか合わせガラスを使わなければならない。省エネについても、中国と比べ日本での普及はこれから。皆さんと一緒にビジネスを大きくしていきたい。それは社会の要請に応えることでもある。

竣工式の様子

上仲宏二ナブテスコ住環境カンパニー商品企画部長

ハードグラス工業さんはドアガラスの製造・販売をされており、堅実な経営、確かな技術力、丁寧なサービスは業界の定評があるところだ。新工場は、自動ガラス切断機が整然と流れ、社風を感じるようなラインだと思った。建物はガラスをふんだんに使い、正面のエントランスはすっきりしていると感心した。工場のラインも従業員の皆さんが働きやすい環境がつくられており、下岡社長が社員の皆さんを大切にされていることが分かった。

昨今、建築業界は著しく環境が変化しており、ガラス・ドア業界も例外ではない。お客さまのニーズも多様化している。本日工場を見せていただき、厳しい環境の中でもハードグラス工業さんが未来に向かって飛躍すると確信した。

山本博敏大林組常務大阪本店建築副事業部長

設計は下岡社長の要望で生産性を最優先し、機械設備のレイアウトの自由度を確保するため、大空間の構築がメーンテーマだった。拝見すると活気のあるスムーズな作業ができているようだったので安堵（あんど）した。施工は4月に着工してから6カ月、持てる技術を結集し、厳格な品質管理の下、取り組んできた。空港第1工場と呼ぶからには、今後、第2、第3、第4と、伊丹市内で拡大していただきたい。

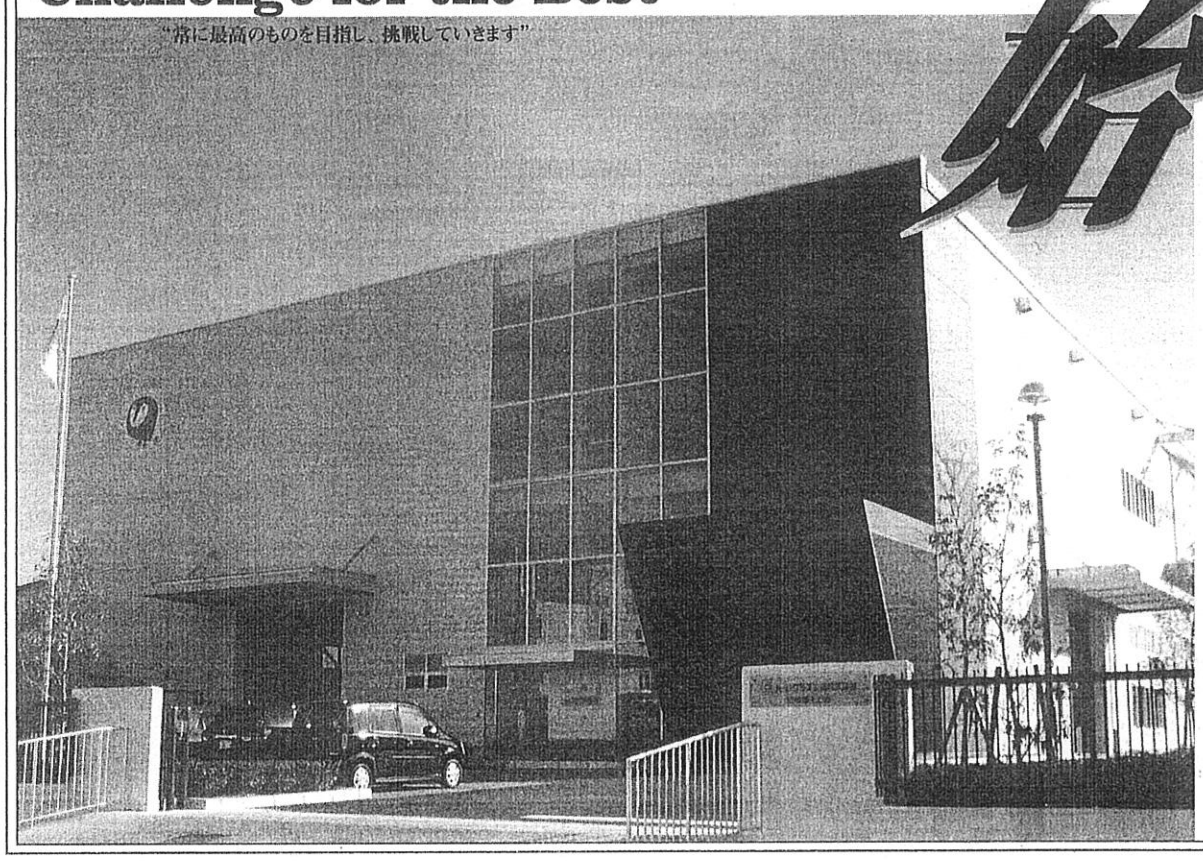
伊東弘之AGC硝子建材社長

今後もぜひ一緒に強化ガラス、合わせガラスの拡販に努めていきたい。今日工場に来て印象的だったのは、大変大きな立派な工場だったこと。ハードグラス工業さんがますます繁栄する大きな力になると思う。

Challenge for the Best

"常に最高のものを目指し、挑戦していきます"

始動



ハードグラス工業株式会社は、設立以来、時代と共に変化する強化ガラス・建築用ガラスへの需要に的確にお応えするため、製品の品質と機能の向上に力を注いでまいりました。強化ガラスドア国内シェアNo.1（市場占有率43%）を占める企業として人と環境に配慮した「高機能性」に加え、そして今、人を守る「高い安全性とエコ」が製品に求められる時代となってまいりました。新しい時代の高い安全性と次の時代につなげるエコロジーな商品を継続的に取り組んでおります。安全ガラス（強化ガラス・合わせガラス）製品の総合メーカーとして、いつの時代も、求められる品質と機能をお届けできる企業であるために、品質マネジメントシステムISO9001認証を取得。平成20年5月環境マネジメントシステムISO14001を認証取得。環境に配慮した商品の提供、仕事の仕組み、社会的責任のある企業として、社会とお客様と共存・共栄する企業であり続けたいと考えております。

空港第1工場

●建築用板ガラスの切断・加工から安全ガラス・エコガラスまで　●5000m²　●従業員40名

強化ガラス・合わせガラス・複層ガラスの製造、販売

強化ガラスドア・強化複層ガラスドアの製造販売

●建築ガラスのすべての要求にお答えできるハードグラス工業（株）です。

ハードグラス工業株式会社　URL http://www.hardglass.co.jp

本社　〒664-0831 伊丹市北伊丹7-79　Tel.072(784)3671 Fax.072(770)7400
大阪支店　〒664-0831 伊丹市北伊丹7丁目76-1　Tel.072(784)3672 Fax.072(770)7400
東京支店　〒141-0022 東京都品川区東五反田1-4-1ハニー五反田第2ビル2F　Tel.03(5420)5911 Fax.03(5420)5912
札幌営業所　Tel.011(261)7346 Fax.011(261)7348　仙台営業所　Tel.022(762)7338 Fax.022(762)7339
名古屋営業所　Tel.052(454)3660 Fax.052(454)3770　福岡営業所　Tel.092(291)6510 Fax.092(282)1030

本社第1工場 / 本社第2工場 / 川西工場 / 空港第1工場　■ 関連会社 （株）ハーディ